様式第６号（第１７条関係）

会　議　録

会議の名称	令和６年度　第３回　庄和市民センター正風館　地域づくり推進会議		
開催日時	令和６年１２月１５日（日曜日）	開　会	午後２時００分
		閉　会	午後３時２５分
開催場所	庄和総合支所　１階１０１会議室		
議長(会長等)氏名	会長　松 原　　睦		
出席者	委員氏名	（出席人数：　１２　人） 松原睦、森田伝、嶋村清、木村亞人、新井勝、小野誠、工藤キミエ、内山厚一、 鈴木さくら、磯村幸一郎、佐藤未来、前島潤	
	説明者 事務局	（出席人数：　３　人） 飯口 市民生活部長、矢野 市民生活部参事、川辺 庄和市民センター長	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	次第 １　開会 ２　あいさつ ３　協議事項 （１）本日の会議の進め方（案）について （２）第２回会議等で出された意見の集約について（意見交換） ４　その他 ５　閉会		
一部公開・非公開の場合はその理由	□　要綱第３条第１号該当： □　要綱第３条第２号該当： □　要綱第３条第３号該当： □　要綱第３条第４号該当：		
配布資料	資料　　地域の一員として、私たちが自ら行動できること！ 資料　　次第 資料　　名簿 資料　　座席表		
会議録の作成方法	□　録音テープ等を使用した全文記録 ☑　録音テープ等を使用した要点記録 □　要点記録		
会議録署名の指定	会議録の署名は会長が行うものとする。ただし、会長が不在その他の理由によりやむを得ないと認められる場合は、副会長又は事前に会長から指名された委員が署名を代行できるものとする。		

発言者	発言内容　・　決定事項
市民センター長	資料の確認。会議をすべて公開する旨の報告。傍聴定員の報告。傍聴希望者有りの報告。
市民センター長	１　開会
	本日の出席は過半数に達しているため、会議は成立する旨の報告。
会長	２　あいさつ
市民センター長	３　協議事項
	（１）本日の会議の進め方（案）について
	（２）第２回会議等で出された意見の集約について（意見交換）
	※ 資料に基づき、市民センター長説明
	■ 地域の一員として、私たちが自ら行動できること！ ■
	（機能①）地域まちづくりの拠点としての機能
	目標① 自治会活動のさらなるサポートを目指す。
委員	目標①に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・場所の借用手続き等を簡略化するなどし、自治会長や役員の負担軽減を図る。
	地域コミュニティ（自治会含む）の活動をバックアップする。
	・自治会連合会でも、ツイッター等のSNSを今後どう運用（活用）していけばよいのか、議論を深めていく必要がある。
	・自治会の活動や行事をわかりやすく説明する。
	・自治会活動に参加するメリットや必要性をわかりやすく説明する。
	・自治会活動に何をどこまで求めるのか考えてみる。
	・自治会の行事や活動内容を広くＰＲする。

	・私たち（若い世代）が自ら地域活動（自治会行事（活動）等）に参加する。
	目標② 地域力の向上を目指す。
委員	目標②に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・ご近所同士の人が仲良く付き合える方策を考えてみる。
	・年配の方と若い世代が交流を深められる方策を考えてみる。
	・世代を超えてコミュニケーションが図れる地域のイベントやサークル活動へ
	の参加を呼び掛ける。
	目標③ 若い世代が参加しやすい行事やイベントを実施する。
	イベント参加者の増加を目指す。（Ｚ世代の掘り起しにもなる）
委員	目標③に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・SNSやメール等を有効活用し、若い世代を引き入れる働き掛けをする。
	・FacebookやTwitterで情報発信をする。
	・LINEやメールを活用し、気軽にイベントなどの情報を共有する。
	・若い世代が興味を持てるイベントへと工夫する。（若い世代ならではの視点か
	ら新しいアイデアや条件を出し合う。企画等に携わる。）
	・庄和地区体育祭等を盛り上げる。
	・スポーツ少年団や小・中学校、高校等への働き掛けをする。
	・庄和地域外からもイベントに参加してもらうなどの働き掛けをする。
	（機能②）防災・防犯の拠点としての機能
	目標④ 「自助」、「共助」、「公助」の連携を目指す。
	災害からの被害をできる限り少なく抑える。
委員	目標④に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・地元住民として何ができるのか考えてみる。
	・地域ごとではなく庄和地区全域として何ができるのか考えてみる。
	・自助、共助による対策として何ができるのか考えてみる。
	・複合災害への対策を地元住民として何ができるのか考えてみる。
	・避難場所までの安全な経路を考えてみる。
	・小中学校等（公共施設）以外の避難場所を考えてみる。
	（機能③）こどもの居場所づくりとしての機能
	目標⑤ 学習スペースや、こどもの遊び場の利用者の増加を目指す。
	今後第２公民館などにも広げていくことができたらよい。
委員	目標⑤に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・飲食可能な場の提供を提案する。昔、正風館にはカフェがあった。
	・地域全体であそび場を考えてみる。
	・魅力的なあそび場を考えてみる。
	・ロビーが学習スペースなった。気兼ねなく気軽におしゃべりができる場所が
	なくなった。学習スペースの場所を考えてみる。
	・北部地域や南部地域にとっての学習スペースやこどもの遊び場を考えてみる。
	（機能④）各種証明書発行の機能　⇒　行政キオスク端末の設置
	目標⑥ 行政キオスク端末機の利用を促す。
委員	目標⑥に対し、地域の一員として、私たちが自ら行動できること。
	・効果的かつ効率的な周知方法を考えてみる。
会長	５　その他
	以上で、予め用意した議事はすべて終了。
市民センター長	６　閉会
	以上で、令和６年度　第３回　庄和市民センター正風館　地域づくり推進会議を
	閉会。

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和６年１２月１５日

署名者の職 ・ 氏名　　会　長　・　松　原　　睦